



シスメックス

あんしんレポート2011

CSR取り組みに関する報告書



We Believe the Possibilities.

編集にあたって

編集方針

シスメックスの社会的責任(CSR)に関する考え方とその活動について、ステークホルダーの皆様へお伝えし、皆様との対話を深めることを目的として、毎年「シスメックスあんしんレポート」を発行しています。

第5回の発行となる今回は、特に重要なCSR活動について特集で報告しています。また、ステークホルダーごとに代表的な活動を紹介するとともに、各ページには、WEBサイトに掲載している関連情報の項目名も記載しています。

報告範囲

対象期間 2010年度(2010年4月1日から2011年3月31日)を中心に、一部それ以外の期間の活動についても記載しています。

対象組織 原則としてシスメックスグループ(シスメックス株式会社および国内・海外グループ会社)を対象としています。本報告書中の「シスメックス」はシスメックスグループを指します。

参考にしたガイドライン

- ・環境省「環境報告ガイドライン(2007年版)」
- ・GRI(Global Reporting Initiative)
「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2006」

発行時期

2011年7月

本報告書に関するお問い合わせ先

シスメックス株式会社 CSR本部 CSR・環境推進部
〒651-0073 神戸市中央区臨浜海岸通1-5-1
TEL.078-265-0500(代表) FAX.078-265-0524



目次

シスメックスについて	3
トップメッセージ	5
企業理念・行動基準	7

特集

1

大腸がんリンパ節転移検査を
自動化し、検査を迅速化

9



特集

2

検査機器の提供を通じて
発展途上国の医療機関を支援

11



コーポレート・ガバナンス	13
お客様への責任と行動	17
従業員への責任と行動	19
取引先への責任と行動	21
株主への責任と行動	22
企業市民としての責任と行動	23

地球環境への責任と行動	27
環境マネジメント	27
シスメックスグループ環境行動計画	28
地球温暖化対策	29
資源の有効利用と廃棄物の削減/ 水資源の有効利用/その他	30
事業活動にともなう環境負荷	31

第三者意見	32
会社情報	33

将来に関する予測・計画について

本報告書には、シスメックス株式会社とそのグループ会社に関する過去の事実だけでなく、将来の予測・計画なども記載しています。これらの予測・計画は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、不確実性が含まれています。したがって、将来の事業活動の結果や将来に起こる事象が本報告書に記載した予測・計画とは異なったものとなる可能性があります。読者の皆様には、以上をご承知いただきますようお願いいたします。

シスメックスについて

「検査」を通じて世界の人々の生命と健康を支えています。

シスメックスは、血液検査や尿検査などの検体検査に必要な機器・試薬ならびにソフトウェアを世界中の医療機関にお届けしています。開発から生産、販売、サービス&サポートまでの一貫した体制のもと、クリニカルバリューとユーザビリティの向上を追求し、検体検査を通じて世界の人々の生命と健康を支えています。



価値の高い検査・診断技術を創出

「血液・免疫疾患」「感染症」「がん」「慢性疾患」など幅広い領域で、価値の高い検査・診断技術の創出を目指しています。



品質を確保し、製品を安定的に供給

徹底した品質管理に努めています。また、試薬の安定供給のために、グローバルな生産体制を構築しています。



170カ国以上に製品・サービスを提供

グローバルな販売ネットワークを構築し、世界170カ国以上の医療機関などに高品質の製品・サービスを提供しています。



お問い合わせにきめ細かく対応

コールセンターやネットワークシステムを通じてお問い合わせにきめ細かく対応するとともに、充実した学術サポートを実施しています。

研究開発

製造

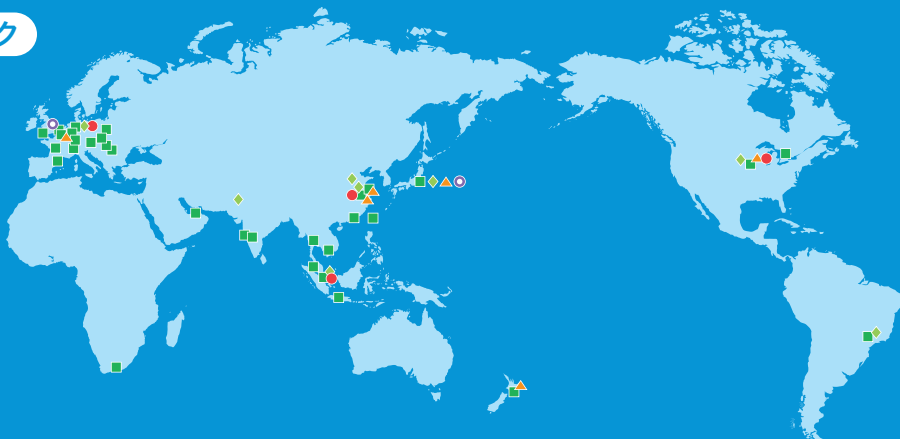
販売

サービス
&
サポート

グローバルネットワーク

関係法人

- 販売
- ◆ 製造
- ▲ 開発
- 物流
- 統括会社





クリニカルバリュー の向上

疾病の早期発見や予防、最適な治療法の選択、予後の予測などに役立つ価値の高い検査を通じて、人々のQOL(Quality of Life:生活の質)向上に貢献しています。



患者さん

検査業務の 効率化・質の向上

ユーザビリティの高い製品、きめ細かいサービス&サポート、個々の医療機関が持つ多様なニーズに対応する最適なソリューションなどの提供を通じて、検査業務の効率化と質の向上を支援します。



医師



検査技師

主要製品



多項目自動血球分析装置

血球計数検査に用いられます。赤血球・白血球・血小板の数や機能を調べる装置です。



全自動血液凝固測定装置

血栓止血検査に用いられます。血栓のできやすさと溶解する機能を調べる装置です。



全自動尿統合分析装置

尿の中の蛋白や糖、血球の有無や、細菌や細胞などの固形物を調べる装置です。



遺伝子増幅検出装置

がん細胞(乳がん、大腸がん)の遺伝子をOSNA法にて増幅させ、その遺伝子の有無を測定する装置です。

ヘルスケアの可能性を追求し、 グローバルに「安心」をお届けしていきます。

ヘルスケアの進化に貢献するために

シスメックスは、1968年の創業以来、検体検査の分野で先進の技術をベースに、さまざまな製品やサービスを生み出してきました。検体検査は、ヘルスケアの分野において病気の早期発見や治療方針の決定、疾病予防に重要な役割を果たします。現在、私たちシスメックスの製品は、世界170カ国以上の医療機関にご使用いただいております。

社会構造の変化にともない、近年医療を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。新興国では、経済発展と人口増加が進み、医療ニーズが急速に高まっています。また、先進国では、少子高齢化や健康に対する価値観の多様化が進んでいます。シスメックスでは、こうした環境変化にいち早く対応していくとともに、ヘルスケアの進化に貢献する新しい価値の創出に努め、世界中の人々の「健康でありたい」という願いに応えていきたいと考えております。

2010年度には、新たに厚生労働省から大腸がんのリンパ節転移検査用試薬の製造販売承認を取得しました。従来より短時間で精度の高い検査結果を提供することにより、客観的かつ適切な術後治療の方針決定などに貢献するものと期待しております。

すべてのステークホルダーに「安心」を提供する

シスメックスのCSR(企業の社会的責任)は、人々に「安心」を提供し続けるという考え方が基本です。私たちは、企業理念「Sysmex Way」ならびにそれに基づく「行動基準」のもと、お客様や取引先、従業員、株主などのステークホルダーの皆様へ「安心」をお届けしていくためのさまざまな活動を推進しております。事業を通じた世界の人々の健康への貢献はもとより、環境活動や社会貢献活動などにも積極的に取り組んでおります。

2010年度も、これらの活動をいっそう深化させていくため、世界中の従業員が考え、提案する「VQ(バリュークエスト)活動」を継続して実施しました。また、地元神戸の「神戸医療産業都市構想」への参画や、医療・教育・環境などの分野で活躍する

世界各地のNPO・NGOに対する支援などグローバルな社会貢献活動も継続して実施しております。なお、2010年度には、阪神淡路大震災の復興にご支援いただいた皆様に感謝の気持ちを表すとの趣旨に賛同し、2011年11月に神戸で開催される「第1回 神戸マラソン」への特別協賛を決定しました。

国連「グローバル・コンパクト」に参加

グローバル企業としてのCSR活動をさらに積極的に進めていくために、2011年2月には国連が提唱する「グローバル・コンパクト」に参加しました。

この参加を機に、自らが果たすべき社会的責任への認識をさらに深めるとともに、「グローバル・コンパクト」が定める人権、労働、環境、腐敗防止に関する10原則を自社の活動に組み入れ、実践することで、世界中の皆様へ、さらなる「安心」をお届けしていきたいと考えております。



エコビジョンと中期環境活動の推進

地球環境問題が全世界の課題となる中、当社は2010年4月に「シスメックスグループ環境行動計画(シスメックス・エコビジョン2020)」を策定しました。これは、2020年度をターゲットとした私たちシスメックスの長期環境目標を定めたものです。

同計画の中では、製品の設計・生産・販売・使用・廃棄というライフサイクルの各段階での環境負荷低減に重点を置いた目標も定めております。事業活動での省エネルギー・省資源化とともに、環境に配慮した製品・サービスの開発・普及にも積極的に取り組んでまいります。

中期経営計画に基づく新たな価値の創造

本年、私たちシスメックスは、新たな中期経営計画を策定しました。製品のさらなるユーザビリティの向上やクリニカルバリューの提供に取り組むとともに、世界のさまざまな医療

ニーズへの対応をさらに強化してまいります。

医療インフラの整備が急がれる新興国では、現地の医療ニーズに合った製品・サービスの提供とともに、よりいっそうのサポート体制の充実を進めてまいります。また、がんなどの疾患に関する分子診断の領域においても、独自の検査技術の創出を目指し、ヘルスケアのさらなる進化に貢献していきたいと考えております。

震災被災地への支援

このたびの東北地方太平洋沖地震において亡くなられた方々に心から哀悼の意を捧げますとともに、被害に遭われた皆様、避難を余儀なくされている多くの方々に心からお見舞い申し上げます。

医療は復興に欠かせない大事なファクターの1つです。当社では、被災された医療施設や医療支援ネットワークなどによる仮設病院の設置などにあたり、検査機器の無償貸し出しや検査試薬の提供を通じて、医療体制の早期復旧に微力ながらご支援をさせていただきました。

被災地の皆様に対しては、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

また、今回の震災におきましては、被災地に対して海外から多くのご支援をいただきました。あたたかいご支援に心から感謝いたします。

シスメックスは、これからもグループと地球社会の持続的な発展を実現するために挑戦を続けてまいります。ステークホルダーの皆様には、今後ともいっそうのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2011年7月

代表取締役社長

冨 次 恒



シスメックスグループ企業理念

Sysmex Way

Mission

ヘルスケアの進化をデザインする。

Value

私たちは、独創性あふれる新しい価値の創造と、
人々への安心を追求し続けます。

Mind

私たちは、情熱としなやかさをもって、
自らの強みと最高のチームワークを発揮します。

行動基準

お客様に対して

常にお客様の視点で行動し、確かな品質ときめ細やかなサポートにより、お客様に安心を届けます。
常にお客様が真に求めるものが何かを追求し、お客様の期待を超える新しい価値を提案します。

従業員に対して

多様性を受け入れ、一人ひとりの人格や個性を大切にすると共に、
安心して能力が発揮できる職場環境を整えます。
自主性とチャレンジ精神を尊重し、自己実現と成長の機会、成果に応じた公正な処遇を提供します。

取引先に対して

公平・公正を基本とした幅広い取引により、取引先の皆様に安心を届けます。
相互の信頼関係と研鑽により、取引先の皆様と共に発展する企業をめざします。

株主様に対して

経営の健全性と透明性を高め、積極的な情報開示とコミュニケーションで、株主の皆様
に安心を届けます。
堅実かつ革新的な経営を推進し、持続的な成長と株主価値の向上に努めます。

社会に対して

法令遵守はもとより、常に高い倫理観にもとづいた事業活動を推進し、社会の全ての皆様に安心を届けます。
環境問題をはじめ地球や社会が抱える様々な問題の解決に、社会と共に取り組みます。

企業理念「Sysmex Way」の実践に 世界中の従業員が取り組んでいます。

Sysmex Wayの実践を目指す 「VQ(バリュークエスト)活動」を推進しています。

企業理念「Sysmex Way」を実践していくために、シスメックスは2008年度から「VQ(バリュークエスト)活動」に取り組んでいます。これは、従業員がSysmex Wayの実践に関するアイデアを提案し、皆で議論していくという活動です。

2010年度も継続してこの活動に取り組みました。まず社長から問い掛けが発信され、それに対して世界中の従業員からさまざまなアイデアが寄せられました。その後、これらのアイデアをもとに、22のチームが結成されて数カ月にわたって議論が重ねられました。そして12月には、各チームが議論した成果を発表する場として「VQセッション」を開催し、国内外グループ会社の従業員を含む約150名が参加して地域や組織の垣根を越えたコミュニケーションが実現しました。

従業員発のさまざまなアイデアが、 すでに実行に移されています。

VQ活動において従業員から提起されたアイデアの中には、すでに実行に移されたものもあります。2009年度には、地元神戸市の中学校への出張授業や、イントラネット上の「働きやすさの窓口」サイト開設などを実施しました。その後も、下記のような活動が実現しています。

- 業務効率向上とワークライフバランスに関するダイアログの実施(20ページ参照)
- 日本の従業員による「エコチーム」の環境保全活動(24ページ参照)
- アジア・パシフィック地域の従業員による「Greener Sysmex」活動(26ページ参照)

シスメックスでは、今後もVQ活動を継続し、Sysmex Wayの実践に取り組んでいきます。

2010年度のVQセッション





特集

1

大腸がんリンパ節転移検査を自動化し、検査を迅速化

シスメックスは従来より「がん」に関する検査技術の創出に取り組んできました。こうした取り組みの成果として乳がんのリンパ節転移迅速検査システム(検査試薬「リノアンブ®BC」、「リノアーク®」)と遺伝子増幅検出装置「RD-100i」を開発し2006年度から欧州で、2008年度から日本で販売しています。2010年度には厚生労働省からこれらの試薬を大腸がんのリンパ節転移検査に適用することも認められました。

術後の治療法を決めるうえで大切な判断材料となるリンパ節転移検査

日本では、がんによる死亡が総死亡数の30%以上を占めています。また、がんの罹患率は年々上昇しています。その

中でも大腸がんは、肺がん・胃がんと並んで罹患率が高いがんです。

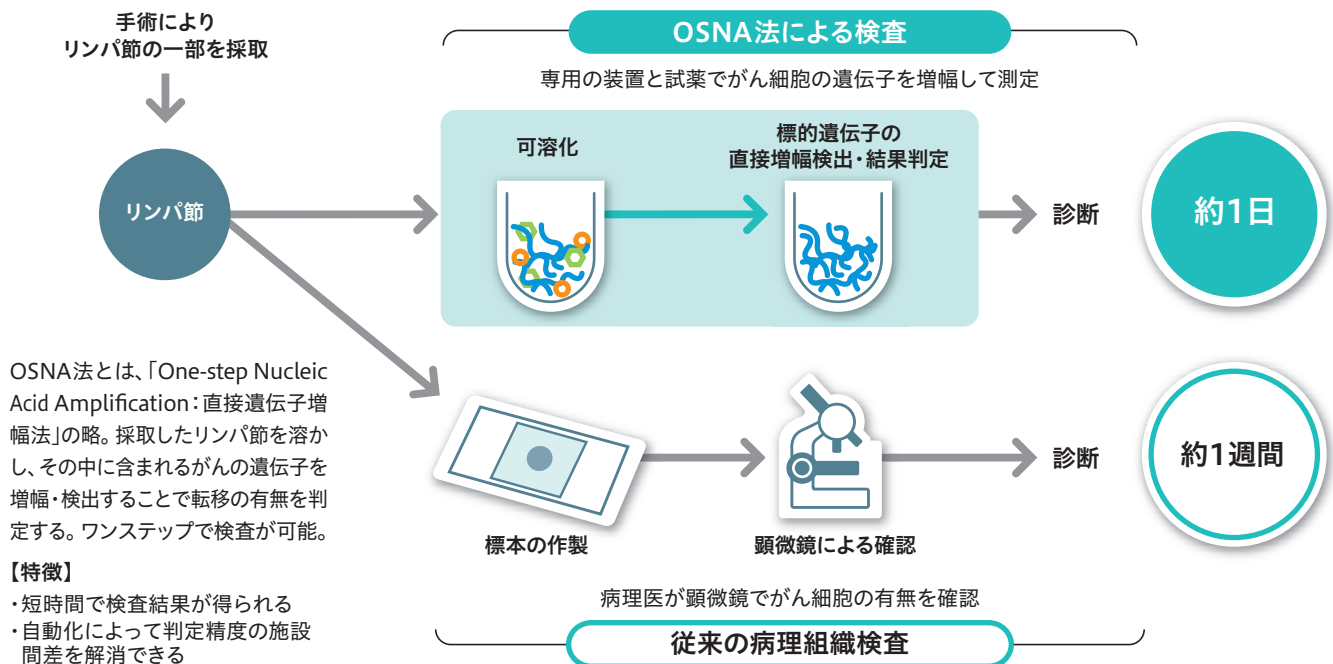
がんは、発生した部位から、リンパ液の流れに乗ってリンパ節に移行し、体の他の部位に広がっていくことがあります。これを「リンパ節転移」と呼びます。リンパ節転移の有無は、がんの性質やその後の経過を推測するうえで非常に重要な情報の1つであり、術後の治療法を決めるうえで大切な判断材料となります。

短時間で結果を得られる「リンパ節転移迅速検査システム」

現在、大腸がんリンパ節転移の診断は、病理医が手術で摘出したリンパ節の切片を用いて病理標本を複数作製し、顕微鏡によってがん細胞の有無を確認して転移を判定する方法が一般的です。しかし、多くのリンパ節を詳細に検査することは、病理医の負担となっています。



OSNA法による大腸がんリンパ節転移検査



- ① ライフサイエンス関連技術の研究開発
- ② 遺伝子増幅検出装置「RD-100/i」
- ③ 検査試薬「リノアンブ® BC」

シスメックスが開発した、OSNA法(One-step Nucleic Acid Amplification: 直接遺伝子増幅法)による「リンパ節転移迅速検査システム」を用いることで、この検査を簡便に行うことが可能になります。また、従来の病理組織検査法では、診断結果が得られるまでに約1週間要していましたが、このシステムを用いることで、手術翌日に判定を確定し、診断することが可能となります。

さらに、病理組織検査法では、組織標本作製する工程や、顕微鏡でがん細胞の有無を確認する工程は病理医の技術や経験に頼るところが大きく、各医療施設間で検査精度に差があるといわれています。自動で検査が行える同システムの普及が進めば、この検査精度の施設間差という課題も解消できると考えられます。

シスメックスは今後も同システムの普及に取り組むとともに、胃がんなどの他のがん種のリンパ節転移検査にも活用できるよう研究開発に取り組んでいきます。

大阪大学大学院
医学系研究科教授
松浦 成昭様



ステークホルダーの声

迅速、高精度なOSNA法に期待しています。

OSNA法は、迅速性という利点を発揮して、乳がん診療に貢献してきました。大腸がんでも術中迅速診断への利用が期待されます。また、大腸がんにおいては、リンパ節転移が陰性とされた場合もstage IIにおいて早期再発する例が時に見られるため、リンパ節の一部分だけを用いる病理組織検査法の精度不足が指摘されてきました。このような症例にOSNA法を活用することで、いっそう正確な診断が可能になると考えられます。

さらに、OSNA法は簡便な自動化システムを使っているため施設間格差をなくし、がん治療の標準化にも貢献できると思います。大腸がん臨床現場でのOSNA法の活躍を期待しています。



特集

2

検査機器の提供を通じて 発展途上国の医療機関を支援

世界には、いまだ十分に医療インフラが整備されていない地域が数多く存在します。シスメックスはグローバルに事業を展開するヘルスケア企業としてこうした地域の医療機関に検査機器を提供することで医師や検査技師の負担軽減や患者さんの健康の維持・向上を支援しています。

発展途上国の人々の健康の維持・向上を支援

シスメックスは、従来からさまざまな団体と協力し、発展途上国の医療機関に対して検査機器を提供してきました。

アフリカでは、HIVの蔓延が重大な問題となっているセネガルやケニア、ザンビアなどの医療機関に対して、HIV患者の健康状態のモニタリングに役立つ機器を提供してきました。アジアでは、インドネシアの診療所に、母子の健康状態の向上

に取り組むNPOを通じて診断・治療に役立つ血液分析装置を寄贈しました。また、標高3,600mの高地にあるチベットの病院に対して、低気圧下でも問題なく使用できるよう改良した機器を提供しました。

2010年4月、バヌアツへの血液分析装置提供に対する感謝状を受領

2010年4月には、川崎北ロータリークラブ様より、バヌアツの病院に対する血液分析装置の提供に関して感謝状をいただきました。

南太平洋の島国バヌアツには、総合病院としては首都にポートビラ国立中央病院があるだけで、他の町には数人の看護師が駐在している小さな診療所しかありません。また、ポートビラ国立中央病院の検査室では、1日当たり約100人分の血液を検査していましたが、人員は限られており、また、顕微鏡を使った手技での検査であったため、効率性の面で課題が



これまでの主な血液分析装置の提供

セネガル



JICA(国際協力機構)を通じて病院やセネガル保健省に提供し、同国が進めるHIVの母子感染予防プログラムに有効であることからHIVナショナルラボの公認検査機器として認可されました。

ザンビア



HIVの蔓延が問題となっている同国で、社会的弱者の支援活動を展開しているNGOの診療所に対して提供しました。

ケニア



HIVの撲滅を目指して活動するNPOからの、患者の健康状態を迅速にチェックしたいという要望に応え、提供しました。

チベット



標高3,600mという高地にあり、気圧が低いため正常に機能する装置が手に入らないという悩みをお持ちだった病院に、装置を改良して提供しました。

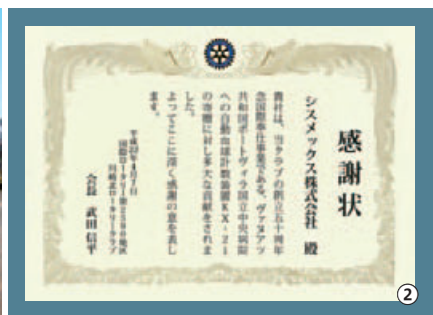
インドネシア



母子の健康向上を目指すNPOを通じて現地の診療所に寄贈しました。また、電力供給が不安定なため、太陽光発電装置も提供しました。



①



②



③

- ① ポートビラ国立中央病院
- ② 川崎北ロータリークラブからの感謝状
- ③ 感謝状を受領

ありました。以前からバヌアツのマラリア撲滅に向けた奉仕活動を展開してきた川崎北ロータリークラブ様は、こうした課題を現地の医療関係者から聞き、血液分析装置を寄贈することを決定されました。同クラブから要請を受けたシスメックスは、全自動で検査が可能な多項目自動血球計数装置KX-21を提供し、2009年7月に現地に設置しました。以降、継続的に試薬提供やメンテナンスを実施し、サポートしています。

ポートビラ国立中央病院からは、川崎北ロータリークラブ様を通じて、「自動で測定できるようになり、迅速に正確な検査データが得られるようになった」「バヌアツの医療に大変役立ち、非常に感謝している」などの喜びの言葉が寄せられています。また、川崎北ロータリークラブ様からは、当社の装置提供によってバヌアツとの絆をいっそう深めることができたとの評価をいただいています。これからも、シスメックスは、グローバルなネットワークを活かし、検査機器の提供を通じて世界各地の医療課題の解決に貢献していきます。

川崎北ロータリークラブ
2011～2012年度
国際奉仕委員長
松波 登様



ステークホルダーの声

医療関連企業からの協力に期待しています。

川崎北ロータリークラブは、12年前にバヌアツへの医療支援を開始し、現地の要望を丁寧に聞きながら、顕微鏡をはじめとするさまざまな機材を寄贈してきました。今般、現地から血液分析装置が必要だという声をいただいたため、シスメックス様に声をかけさせていただきました。

現地での使用に向けた装置の設置から調整、操作者へのトレーニングなど快くご対応いただいたことに感謝いたします。寄贈後、現地からは多々喜びの声が届いており、当クラブとしてもお役に立てたことを嬉しく思います。当クラブは今後もバヌアツへの支援を継続する予定ですので、是非、医療関連企業にも協力をお願いしたいと思います。

社会から信頼と期待を獲得するために

シスメックスは、経営の健全性・透明性を高め、経営効率と経営スピードを向上させることで、グループ全体の企業価値の最大化を図っています。

また、「正々堂々とした事業活動」を追求し、グローバル社会からの信頼獲得に努めています。

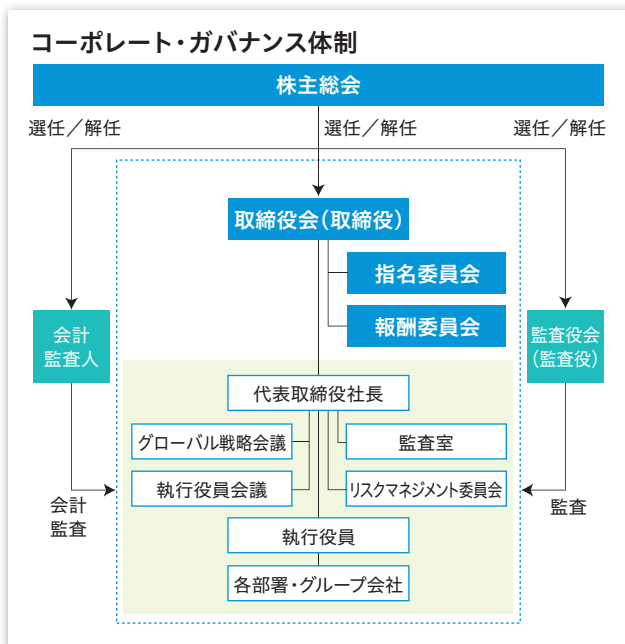
コーポレート・ガバナンス体制

経営の健全性と透明性を高め、 経営効率を向上させるために

シスメックスは、コーポレート・ガバナンスの強化を重要な経営課題の1つとして位置づけています。経営の健全性と透明性を高め、経営スピードと経営効率を向上させることが、グループ全体の企業価値の最大化につながると考えています。

取締役会は取締役8名で構成し、経営に関する重要事項を審議しています。当社は監査役制度を採用しており、社外監査役2名を含む4名で構成する監査役会が、独立した立場から客観的に取締役の職務遂行を監視しています。2005年4月から、業務執行の意思決定スピードをいっそう高め、事業環境の変化に迅速に対応できるよう、執行役員制度を導入しています。社長の意思決定のための諮問機関として執行役員会議を設置し、グループの業務全般の重要事項を審議しています。執行役員は14名で、うち取締役兼任が7名です。また、委員会設置会社と同様の役割を持つ指名委員会と報酬委員会も設置しています。

また、ステークホルダーの立場を尊重するために内部者取引管理規程や、個人情報保護規程、コンプライアンス規程、臨床研究開発に関する倫理規程などの規程を制定しています。



内部統制

財務報告の適正性を確保するために

2008年11月に「財務報告に係る内部統制管理規程」を制定するとともに、社長の諮問機関として「財務報告に係る内部統制委員会」を設置し、グループ全体の内部統制システムの構築に取り組んでいます。

財務報告に関わる業務をグループ全体で標準化するために、2009年度には、ERP※システムの再構築に着手しました。2010年度には、欧州の一部拠点を除くグループ全体への展開が完了しました。

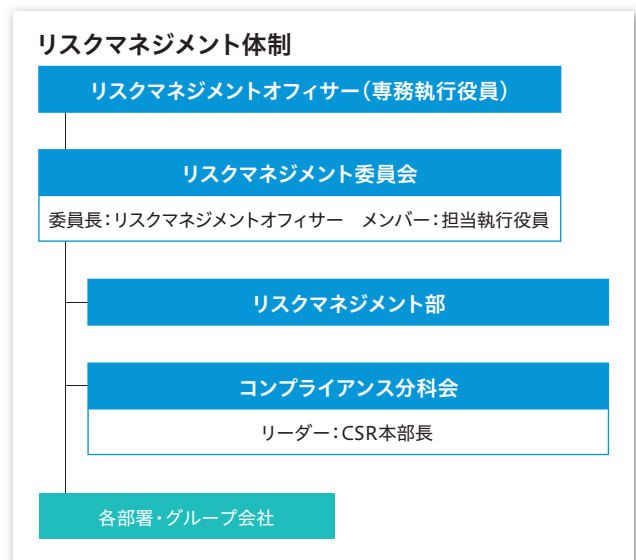
※ ERPとは、「Enterprise Resource Planning(企業資源計画)」の略で、企業全体を経営資源の有効活用の観点から統合的に管理し、経営の効率化を図るための手法・概念のことです。

リスクマネジメント

委員会を設置してリスクマネジメントを推進

グループ全体のリスクマネジメント活動を統括する組織として、最高責任者「リスクマネジメントオフィサー」(専務執行役員)を委員長とする「リスクマネジメント委員会」を設置しています。

2010年度には、中期経営計画期間中の重要リスクを選定するため、リスクアセスメントを実施し、新たに重要リスクを選定しました。



コンプライアンス

「正々堂々とした事業活動」を追求

シスメックスは、コンプライアンスを「法令遵守とともに高い倫理観に基づいた正々堂々とした事業活動を行うこと」であると定義しています。

この定義に基づいて、役員・従業員が遵守すべき特に重要なルールをまとめた「コンプライアンスコード」を制定しています。同コードは英語、中国語、ドイツ語の他、各国の言語に翻訳して海外グループ会社にも適用しており、グループの全従業員から同コード遵守の誓約書を取得しています。

コンプライアンスコード（抜粋）

1. お客様への安全と安心の提供
2. 公正な取引と自由な競争の推進
3. 公平・適正な情報開示と情報管理の徹底
4. 知的財産権の尊重
5. 国際的な平和と安全の維持
6. 適正な会計処理と納税の実施
7. 人権の尊重と安全・衛生の向上
8. 公私のけじめと利益相反行為の禁止
9. 社会との健全な関係の保持
10. 地球環境の保護

2006年4月制定

コンプライアンス教育を継続して実施

国内では、グループ全従業員を対象としてコンプライアンス教育を実施しています。また、「コンプライアンスハンドブック」を作成し、全従業員に配布しています。さらに、部門ごとに、業務に関係する法令について教育を実施しています。

海外グループ会社については、アメリカ、ヨーロッパ、中国、アジア・パシフィックそれぞれの地域の統括会社にコンプライアンス責任者を設置するとともに、各グループ会社で教育を実施しています。



コンプライアンスハンドブック

コンプライアンス強化月間における取り組み

2010年度は10月を「コンプライアンス強化月間」と定め、従業員のコンプライアンス意識を醸成するためにさまざまな活動を集中的に実施しました。

具体的には、国内グループの全従業員を対象にしたアンケート方式のコンプライアンスサーベイを実施し、知識・教育効果などの面で改善の進捗状況を確認しました。また、各種の講演会やセミナーを開催し、コンプライアンス意識のさらなる向上を図りました。

強化月間に開催した講演会・セミナー

名称	参加人数
役員向けコンプライアンス講演会	17名
本部長・部長向けコンプライアンス講演会	81名
著作権・商標セミナー（従業員対象）	380名



本部長・部長向けコンプライアンス講演会

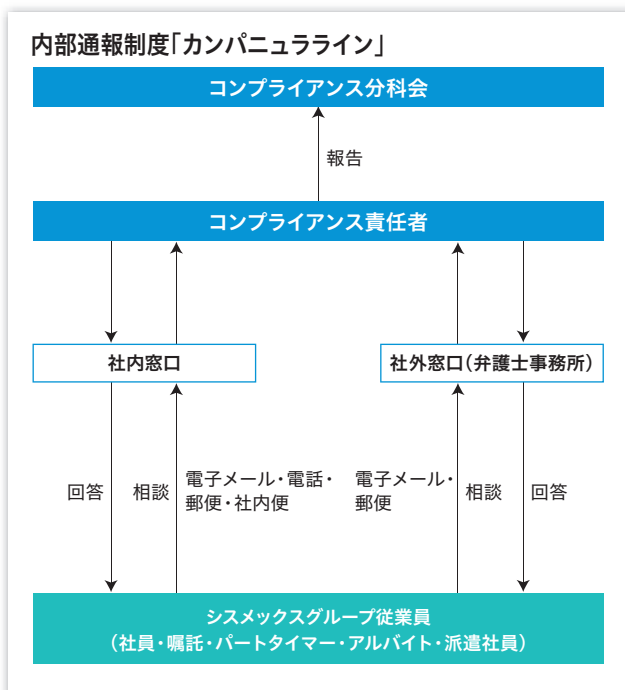


著作権・商標セミナー

内部通報制度

国内グループ向けの内部通報制度「カンパニユライン」は、社内・社外の2つの窓口で、電話、郵便、電子メールを通じて相談や通報を受け付けています。寄せられた情報は匿名で取り扱い、相談・通報者の個人情報を保護しています。

また、海外グループ会社でも内部通報制度の整備を進めており、2011年1月現在44社中38社で設置を完了しています。



研究倫理の遵守

シスメックス(株)は、臨床研究やヒトゲノム・遺伝子の解析研究に取り組む企業として、「人間の尊厳の尊重」「個人情報の保護の徹底」などを基本方針とする「臨床研究開発及びヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理規程」を定め、法律・科学の専門家などの社外委員をメンバーに含む「研究倫理審査委員会」を設置し、研究内容を審査しています。

委員名簿や審査結果は当社Webサイトで公開し、透明性を確保しています。

ブラジルのグループ会社が、SA8000※1とOHSAS18001※2の認証を取得

グループ会社シスメックス・ブラジルは、2008年度から労働者の基本的人権の保護に関する国際規格SA8000※1の認証取得を目指し、従業員や取引先に対する説明会などに取り組んできました。

2010年度には、同規格の認証を取得し、また、あわせて労働安全衛生マネジメントシステムの国際的な規格であるOHSAS18001※2の認証も取得しました。

- ※1 SA8000:国際労働機関(ILO)の諸条約や、「世界人権宣言」、「国連子どもの権利条約」に基づいて米国のCSR評価機関が策定した規格。
- ※2 OHSAS18001:1996年にイギリス規格協会(BSI)が発行した規格BS8800をもとに、約30の各国審査登録機関、標準団体などが集まって1999年に発行された規格。



認証取得チーム

腐敗防止のための教育を推進

シスメックス(株)は、2008年度に、贈賄などの不適切な行為を防止し、取引の公正性を確保するための行動基準を定めた「シスメックスプロモーションコード(SPC)」を策定しました。また「教育指導」「調査」「監査」を担当する3つの部会を持つ「公正な取引推進委員会」を設置しました。

2010年度も、2009年度に引き続き、国内グループ会社も含む販売・サービス部門や公的機関と接する研究開発部門などの従業員を対象とする教育を実施しました。

CSR活動の推進

国連「グローバル・コンパクト」に参加

シスメックスは、CSRへの取り組みを積極化するために、国連が提唱する「グローバル・コンパクト」への参加を表明し、2011年2月22日に正式に登録されました。

「グローバル・コンパクト」は企業・各種団体が遵守すべき10原則を示したもので、1999年1月の世界フォーラムにおいて、当時のアナン事務総長が提唱し、翌2000年7月にニューヨークの国連本部において正式に発足しました。参加企業・団体は人権、労働、環境、腐敗防止に関わる10原則を支持、遵守し、活動を展開していくことになります。参加企業・団体数は世界で8,800、日本では125以上にのぼります(2010年12月末時点)。

「グローバル・コンパクト」への参加を機に、企業活動の中で果たすべき社会的責任についてあらためて認識を深めるとともに、人権、労働、環境、腐敗防止に関わる10原則を企業活動に組み入れ実践することで、これからも世界中の皆様へ「安心」をお届けしていきます。



グローバル・コンパクトの10原則

人権	1. 企業はその影響の及ぶ範囲内で国際的に宣言されている人権の擁護を支持し、尊重する。
	2. 人権侵害に加担しない。
労働	3. 組合結成の自由と団体交渉の権利を実効あるものにする。
	4. あらゆる形態の強制労働を排除する。
	5. 児童労働を実効的に廃止する。
	6. 雇用と職業に関する差別を撤廃する。
環境	7. 環境問題の予防的なアプローチを支持する。
	8. 環境に対して一層の責任を担うためのイニシアチブをとる。
	9. 環境にやさしい技術の開発と普及を促進する。
腐敗防止	10. 強要と賄賂を含むあらゆる形態の腐敗を防止するために取り組む。

CSR推進体制を改編

2010年度、シスメックスは企業としての社会的責任を、いっそう積極的に果たしていくためにCSR本部を新設しました。この本部に、CSR・環境推進部(旧CSR・環境推進室)とリスクマネジメント部を置く体制としました。今後、リスクマネジメントを包括したCSR活動を推進していきます。

また、2010年度には、シスメックスのCSR重点課題についての検討を開始しました。

CSR意見交換会を実施

CSR・環境推進部(旧CSR・環境推進室)と各部署・各拠点の役職者を中心としたメンバーが参加し、「CSR意見交換会」を開催しています。

2010年度は計6回開催し、社会動向や、シスメックスのCSR活動の現状について情報を共有し、今後の活動をめぐってディスカッションを重ねました。



東京支店での意見交換会



大阪支店での意見交換会

期待を超える品質と満足を追求

シスメックスは、製品・サービスの品質をさらに高めるとともに、お客様の安全や使いやすさに配慮し、安心して使用いただくためのしくみづくりに精力的に取り組んでいます。

「お客様が真に求めるものが何か」を追求し、ご期待を超える満足を提供することを目指していきます。

品質の確保

品質方針

私たちは、ヘルスケア分野でのグローバルな企業活動を通じて、豊かな健康社会づくりに貢献します。

行動基準

1. お客様のニーズを把握し、お客様の期待を超える製品やソリューションを提供します。
2. 品質とは顧客満足であるという認識のもと、お客様の立場に立って行動します。
3. お客様に安心していただくために、徹底した品質保証とあらゆる業務における質の向上に努めます。
4. 独創的な新しい技術とナレッジによって、新たな価値を創り続けます。
5. 使用される国または地域の法令、規格等を遵守し、安全な製品を提供します。
6. 品質マネジメントシステムの有効性を維持するとともに継続的な改善を図ります。
7. 品質方針から品質目標を設定し、目標達成に向けて計画的に取り組めます。

2007年5月制定



2010年度のグローバルQAミーティング

製品の品質を確保するために

臨床検査で用いられるシスメックスの製品は、人々の生命と健康を守るうえで極めて重要な役割を果たしています。そこで、シスメックスは製品の設計・開発段階において、世界各国の安全規格を満たすことはもちろん、さまざまなしくみを構築して、製品品質の維持・向上を図っています。新製品の開発においては、市場に導入するまでのプロセスにおいて5つの「クオリティ・ゲート」を設けて品質を確認しています。

また、他社製品をシスメックスが販売する場合は製造業者への監査や製品の検査を実施し、品質確保に努めています。

グローバルな品質マネジメントシステムの構築

2011年3月末現在、グループ全44社中27社で品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001の認証を取得しています。なお、開発、生産機能を持つ会社は、すべて取得済みです。

2009年度には、「シスメックスコーポレーション品質コンプライアンス方針」を新たに策定しました。この中で、品質を維持し、顧客満足を得るために遵守すべき法規制や社内ルールをあらためて確認するとともに、それらを遵守するための体制と活動を明確にしました。同時に、これらが確実に実行されていることを確認するためのグローバルな内部監査の手順を策定しました。2010年度には、中国とシンガポールの工場に対する監査を実施しました。

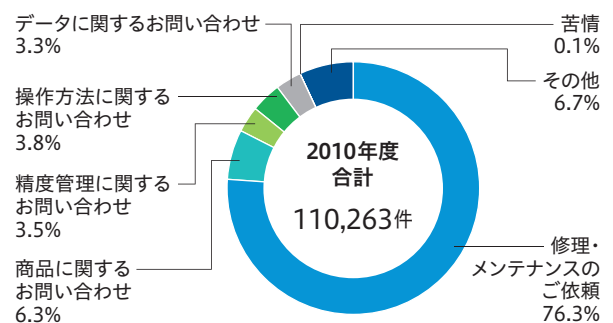
さらに、毎年1回、「グローバルQA(クオリティ・アシュアランス)ミーティング」を開催しています。日本のシスメックス(株)と、アメリカ、ヨーロッパ、中国、アジア・パシフィックの各地域統括会社や関係会社から、品質マネジメントシステムの担当者が集合し、情報共有することでグローバルな品質保証体制の強化に取り組んでいます。

サービス&サポート

お問い合わせに、迅速・確実にお応えするために

シスメックス(株)では、日本国内のお客様のための相談窓口「カスタマーサポートセンター」を設置し、豊富な知識を持った専任スタッフが、24時間365日体制(別途契約が必要)でお問い合わせに対応しています。

カスタマーサポートセンターへのお問い合わせ内容の内訳



- ・製品の安全性確保
- ・偽装試薬対策

同センターでは、過去のお問い合わせ内容やメンテナンス履歴などを蓄積し、すぐに参照できるようにすることで、お客様からのお問い合わせ・ご要望に迅速・確実にお応えしています。海外4地域(アメリカ、ヨーロッパ、中国、アジア・パシフィック)においても、各統括会社に相談窓口を設置しています。

お客様の日々の精度管理をサポート

病院などの医療機関では、毎日の検査データの信頼性を確保するために検査装置の精度を日々管理しています。一般には「コントロール」と呼ばれる専用の試料を測定し、その結果を前日の測定結果と比較することによって、検査装置の状態をチェックします。

シスメックス(株)は、このコントロールを提供してお客様の精度管理をサポートしています。さらに、お客様のもとにある検査装置と、当社のカスタマーサポートセンターをオンラインで結ぶ「シスメックス・ネットワーク・コミュニケーション・システムズ(SNCS)」を構築しています。カスタマーサポートセンターでは、この「SNCS」を通じてお客様の検査装置から送られてくるコントロールの測定値を受信し、異常の有無を判定して結果を送信するサービスを提供しています。またSNCSを用いれば、お客様が気づく前に不具合の予兆を察知することができるため、検査装置の故障予防にも貢献しています。今後、こうした「予知」「予防」のサポート体制と、故障時のネットワークを活用したリモートメンテナンスサポートをさらに強化していく予定です。

シスメックスでは、2010年度、検査装置の取扱説明書のわかりやすさを向上させるために、説明書の章立てをユーザーの運用フローにあわせて形に変更するとともに、文字の大きさや種類にメリハリをつけるなどの改善を実施しました。また、一部の検査装置については、ディスプレイ上で、動画を用いて操作方法をわかりやすく紹介する取扱説明書を閲覧できるようにしました。



学術活動

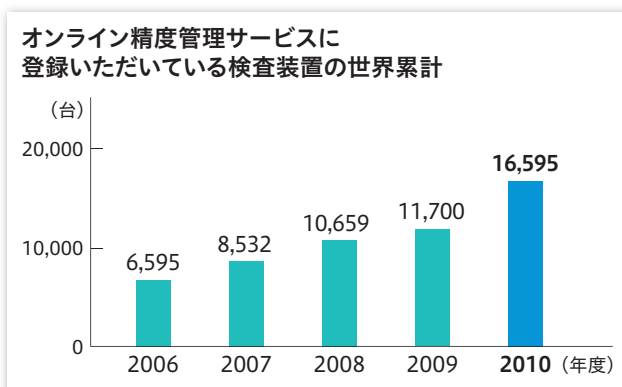
医療従事者向けの学術セミナーを開催

シスメックスは、医師や看護師、臨床検査技師などの医療従事者の方々を対象としたセミナーや勉強会を開催し、学術情報を発信しています。2010年6月には、神戸・東京・仙台・福岡の4会場を衛星中継で結び、「遺伝子検査の最前線」をテーマとして、第33回シスメックス学術セミナーを開催しました。

また、アジアをはじめとして海外でも積極的に学術活動を展開しています。2010年10月に開催した第13回中国学術セミナーには、過去最大となる800名以上の方々に参加いただきました。



中国学術セミナー



わかりやすい取扱説明書の作成

正しい検査データを出していただくためには、取扱説明書などでわかりやすく操作方法をお伝えすることも重要です。

自己実現と成長を支援

従業員一人ひとりが自主性を持ち、チャレンジ精神を発揮しながら働ける会社を目指し、公正な評価・処遇に努め、多様な人材育成プログラムを用意して自己実現を支援しています。また、多様な人材が安心して働くことができる職場環境の整備に取り組んでいます。

処遇・雇用

能力・成果に基づく公平な人事評価

自主性とチャレンジ精神を尊重し、自己実現と成長の機会を提供するとともに、公正な処遇に努めています。

「日本発のグローバル企業として、長期的な雇用を前提に多様な人材の能力開発・育成を推進し、企業価値向上に貢献する能力および成果の発揮に対して報いる」という考え方に基づく人材マネジメントシステムを運用しています。

人材マネジメントシステムの考え方

1) 長期的な雇用を実現するために

- ・多様な人材が安心して能力を発揮できる複線型の資格等級フレームを整備し、自己実現と成長の機会を提供

2) 多様な人材の能力開発・育成を推進するために

- ・コンピテンシーを基軸とする資格等級基準を設定し、昇格基準の明確化による人材育成と昇格運用の適正化を促進
- ・成果のみではなく、成果発揮に至るプロセス(発揮能力)を評価し、人材育成と企業風土の改革を促進

3) 企業価値向上に貢献する能力および成果の発揮に対して報いるために

- ・評価と報酬の関係をシンプルにし、誰にでも分かりやすい制度
- ・仕事の貢献度・役割・発揮能力(コンピテンシー)および成果に連動したメリハリのある報酬体系

インターネットでの会社説明会・採用面接を開始

シスメックス(株)では、性別、国籍、年齢、障がいの有無を問わず、人物本位での採用を実施しています。なお、2010年度からは、海外に留学している学生が就職活動のために学業を中断しなくてもすむよう、インターネットでの会社説明会と採用面接を開始しました。

また、派遣社員や嘱託などの契約社員の正社員登用も積極的に進めており、2010年度には、あわせて10名を登用しました。

人材育成

グローバルな人材の育成に注力

従業員の能力開発・育成と働きがいの向上を目的に、多彩な教育研修プログラムを整備しています。

2010年度には、入社後3年間を義務的な教育期間と位置づけ、若手社員育成プログラムの充実を図り、ビジネスの基礎知識の習得、スキル強化を進めました。また、2011年度からは、マネジメント層や中堅社員を対象とした「マネジメント力の向上」や「グローバルに活躍する人材の育成」を目指した各種教育プログラムの整備を実施しています。

健康と安全への配慮

身心の健康の維持・向上

シスメックス(株)では、定期健康診断に加え、人間ドックや女性がん検診を実施し、疾病の早期発見に努めています。

また、メンタルヘルスに関しては、全社的な相談窓口を設け、従業員が精神科の産業医、保健師、カウンセラーと面談できる体制を整えています。

仕事と家庭の両立支援

子育て支援の各種制度を整備

シスメックス(株)は、親子ができるだけ長く一緒に過ごせるよう、育児のための休業・勤務時間短縮制度を制定しています。また、子供の看護のために会社を休んだ場合に、積立有休を取得できる制度も設置しています。さらに、育児を理由にキャリアを中断した従業員に再び働く機会を与える再雇用制度も設けています。これら支援制度は、イントラネット上の専用サイトでわかりやすく解説しています。

また、小学校就学前までの乳幼児を預けられる社内託児所「シスメックスキッズパーク」を設置しています。同託児所では、常時保育だけでなく、一時保育も可能となっています。

仕事と家庭の両立支援制度の利用状況(2011年3月末時点)

制度	人数
育児のための勤務時間短縮制度	利用者14名
休業制度(育休・産休)	利用者37名
積立有休制度	利用者5名
再雇用制度	利用者0名 登録者6名
社内託児所	利用児童数17名

VQ活動

業務効率向上とワークライフバランスをテーマとしたダイアログを実施

2009年度に発足した「発想の転換による業務効率の追求チーム」では、「Smart work, Smile life」を合言葉に、業務効率の向上やワークライフバランスの啓発についてどのように取り組んでいくべきか議論してきました。2011年5月には、(株)千趣会でダイバーシティ推進や長時間勤務の抑制などに取り組んでこられた毛利尚子様をお招きし、同チームのメンバーとダイアログを開催しました。

ダイアログでは、まず毛利様から千趣会が進めてきた長時間勤務抑制・ワークライフバランス促進の取り組みをご紹介します。その後、「発想の転換による業務効率の追求

チーム」が計画している社内向け講演会とワークショップについて、どのようにすれば意識啓発に効果的なものになるかディスカッションを交わしました。また、毛利様からは、意識啓発においては継続性が重要であるとのこと指摘をいただき、具体的な手法として、優れたワークライフバランスを実現している従業員のエピソードをイントラネットに掲載することを提案いただきました。



(株)千趣会 毛利様から

千趣会は2010年度より委員会を発足し、「業務の質を上げながら長時間労働を抑制する」という健全な「ダイエット」を目指して活動しています。問題の本質を知ること、小さなことからでもコツコツと改善実行していくこと、情報を公開していくこと、これの繰り返しです。シスメックス様のVQ活動という自発的なすばらしい取り組みに刺激をいただきながら、今後も継続的に活動に取り組んでまいります。今後ともよろしくお願いたします。

株式会社千趣会
経営企画本部 人事部
ダイバーシティ推進チーム

毛利尚子様



シスメックス(株)「発想の転換による業務効率の追求チーム」のメンバーから

人事総務本部 岸本有香子(チームリーダー)

業務効率化施策やワークライフバランスについては一般書籍もたくさん出ていますが、実際に推進されている企業の方のお話を直接お聞きできたことにより、現在チームで検討している企画について、書籍では得られないようなヒントをたくさん得ることができました。今後のチーム活動に活かしていきたいと思っています。

技術開発本部 酒井康裕

我々が抽出したものと同じ課題に取り組んでいることを毛利様からお聞きし、VQ活動に適用できる部分が多く、参考になりました。

技術開発本部 狭間俊介

従業員一人ひとりの小さな意識改革によって、ワークライフバランスをぐんぐん推進していけることを実感しました。

経営企画本部 田淵伸也

VQ活動で行き当たった課題について、良きアドバイスを頂きました。今後の実践につなげていきたいと思っています。

CSR本部 中村亜梨沙

具体的な業務効率改善方法を聞くことができとても参考になりました。部門内でもできることから取り入れていきたいと思っています。

CSR本部 森田舞衣

他社の業務効率化の取り組みを実際に聞くことができ、とても参考になりました。今後の業務にも活かしていきたいと思っています。



後列左から、狭間俊介、中村亜梨沙、森田舞衣、田淵伸也
前列左から、酒井康裕、毛利尚子様、岸本有香子

長期にわたる信頼関係を構築

調達先や販売代理店とともに成長し、発展していくことを目指しています。

公正かつ透明性の高い取引を維持しながら信頼関係に基づくパートナーシップを構築することで、優れた製品を提供し、医療への貢献を果たします。

調達先との関係

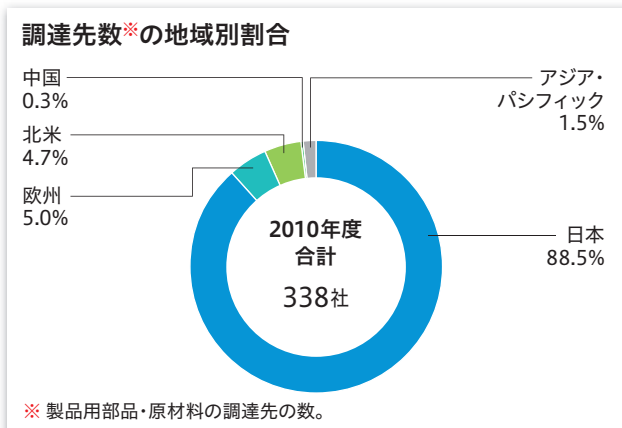
調達方針

- 優れた製品の提供を通じた医療への貢献
- お取引先との信頼関係に基づく相互成長・発展
 - より良いパートナーシップ
 - 公正かつ透明性の高い購買取引
 - 関係法令の遵守と機密保持
 - 環境への配慮

調達部品・原材料の品質向上に向けて

お客様に、確かな品質の製品を安定的に提供するためには、調達部品・原材料の品質を維持・向上する必要があります。そこでシスメックスは、調達先に対して、品質マネジメントシステムを自己診断できるチェックリストを提供したり、シスメックスの調達部門、品質管理部門のメンバーが調達先の工場を訪問し、現場の品質改善に協力するなど、調達先の品質活動を支援しています。

2009年度からは、品質に関する要求事項を明示した品質保証協定書を作成し、調達先との締結を進めています。加古川工場では、継続的に取引がある148社のうち、2010年度末までに、115社と締結を完了しました。また、協定書の内容理解を深めていただくため手引き書を作成し、お知らせしています。



購買方針説明会を開催

毎年、調達先に当社の事業の方向性と調達方針をご理解いただく機会として購買方針説明会を開催し、関係強化に努めています。

2011年2月に開催した説明会には、220社、約370名の方々にご出席いただき、当社の事業活動や中長期的な戦略、購買方針などをご説明しました。



購買方針説明会

下請法の遵守を徹底

下請法の遵守を徹底するために、全社的に、eラーニングによる教育を実施しています。また、電子購買システムを構築し、不当な代金減額や返品を防止するとともに、同システムを使用する新入社員に対して研修を実施しています。

2010年度は、25名がこの研修を受講しました。

販売代理店との関係

基本となるコンプライアンスに注力

シスメックスは、販売代理店と良きパートナーシップを維持するために、コンプライアンスの徹底に取り組んでいます。販売代理店との関係において、従業員が遵守すべきルールとして「優越的地位濫用の禁止」「過剰な接待・贈物の禁止」などを定め、これらを遵守しています。

販売代理店に対しては、新製品発売時に開催する「製品説明会」などでシスメックスのコンプライアンスに関する方針や活動を説明し、コンプライアンスの重要性を認識いただいています。また、2008年度からは、腐敗防止を徹底するために「シスメックスプロモーションコード」を策定し、販売代理店とともに公正な販売を維持するための取り組みを推進しています。

充実した対話機会を設定

利益還元と成長投資のバランスをとることで、持続的な成長を目指しています。

また、株主・投資家の皆様にシスメックスの経営と事業運営について理解を深めていただくために、積極的な情報開示と直接対話を推進しています。

株主総会

株主懇談会を開催

株主の皆様との直接対話の機会を大切にし、できるだけ多くの方々に総会に参加していただけるよう努めています。総会後には株主懇談会を開催し、株主の皆様との対話を深めています。2010年度は、環境保全活動やライフサイエンス領域の研究開発活動など7つのテーマについて、パネルや映像を用いてご説明し、質疑応答を実施するとともに、当社製品や学術資料も展示しました。

総会に参加することが難しい株主の皆様のために郵送やインターネットでも議決権を行使できるようにしています。また、総会の招集通知と決議通知は英文版も作成しています。



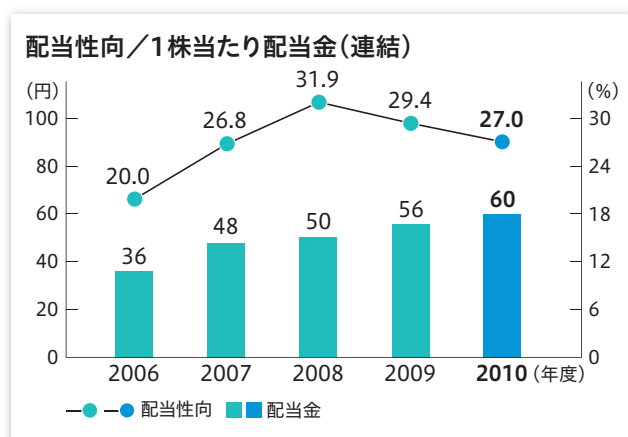
株主懇談会での対話

配当

安定配当を目指して

継続的な安定配当に留意するとともに業績に裏づけられた成果を配分することを基本方針とし、連結業績と配当性向を勘案して配当を実施しています。

内部留保金は将来にわたって高成長を持続させるために研究開発・設備投資に有効投資しています。



情報開示

さらなる情報開示の充実を目指して

シスメックスでは証券取引に関する法令や証券取引所の定める適時開示規則などを遵守することはもちろんのこと、当社独自の基準を設け、投資判断に影響を与えると判断した情報を積極的に開示するよう努めています。

2010年度からは、年2回の決算説明会(期末・第2四半期決算時)に加え、さらなる情報開示の充実を目指し、第3四半期決算発表から、カンファレンスコールを開催しています。

IR活動

積極的に直接対話を実施

投資家の皆様と直接対話する機会を多数設け、経営方針や事業戦略などをご説明しています。機関投資家・アナリスト向けの個別ミーティングを国内外で積極的に実施しており、2010年度の開催実績は約300件となっています。

また、個人投資家向けの説明会については、2010年度には、東京と神戸で、他社と合同で実施しました。

世界最大規模のアンニュアルレポートコンテストで「ゴールド賞」を受賞

シスメックスのアンニュアルレポート2009が、世界25カ国以上から4,000社以上の応募がある世界最大規模のアンニュアルレポートコンペティション「2009ビジョン・アワード」(米国LACP社主催)のヘルスケア(機器)部門において、最高位のプラチナ賞に次ぐゴールド賞を受賞しました。



ゴールド賞認定証

グローバルに社会貢献活動を展開

シスメックスは、企業市民としての責任を自覚し、医療分野をはじめとして、教育、スポーツ、環境など幅広い分野にわたって積極的に社会貢献活動を実施しています。

グローバル企業として、その活動範囲は創業の地、日本の神戸から世界中に広がっています。

日本での活動

医療

神戸医療産業都市構想への参画

「神戸医療産業都市構想」は、産官学が協力して神戸市への医療・産業の集積を図るプロジェクトです。シスメックスは、プロジェクトの中心的な拠点の一つである「神戸臨床研究情報センター」内に「シスメックス浅野研究室」を開設し、血液学の第一人者である浅野茂隆博士（東京大学名誉教授、早稲田大学理工学術院特任教授）の指導のもと、骨髄移植などの細胞療法の効果・安全性の向上を目指して研究を進めています。

2010年6月には、医療産業都市構想に対するシスメックスの貢献が評価され、神戸市から感謝状をいただきました。



神戸医療産業都市構想貢献に対する感謝状授与

神戸大学への支援

2004年度から、神戸大学大学院医学研究科に寄附講座「立証検査医学講座」を開設しています。同講座では、自己免疫疾患に関して、科学的根拠に基づいた検査診断法の確立を目指しています。

2010年度には、医学部会館建設のための寄附を実施し、会館内のホールは、「シスメックスホール」と命名されることとなりました。

乳がんピンクリボン活動に協力

2004年度から継続してピンクリボン活動を支援し、シンポジウムの開催などに協賛しています。



教育

小野工場バス見学ツアー

兵庫県小野市在住の小学生と父兄が、市が主催する「デマンドバス工場見学ツアー」でシスメックス国際試薬の小野工場に見学に来られました。

同社についてご説明した後、工場内のロボットや無人倉庫などを見学していただきました。



バスツアー参加者の皆様

モスクワ大学からインターンシップ生を受け入れ

2010年度、ロシアのモスクワ大学から2名の学生をインターンシップ生として受け入れました。

約1カ月間の研修期間に、シスメックスや日本企業の企業風土、組織、マネジメントについて学んでもらいました。



研修風景



送別会

JICA研修生の受け入れ

毎年、JICA（国際協力機構）を通じて発展途上国の医療従事者を受け入れ、検査機器の使用方法などに関する研修を実施しています。

- ・学術面での支援
- ・地域社会への支援

スポーツ

「第1回神戸マラソン」に特別協賛

シスメックスは、2011年11月20日に開催される「感謝と友情」をテーマとする「第1回 神戸マラソン」に特別協賛します。

約2万名のランナーゼッケンを提供するほか、同時開催の「神戸マラソンEXPO」への出展、ボランティア支援などで全面的に大会をサポートします。



第1回 神戸マラソン記者会見

災害被災地支援

地震被害の被災地を支援

他の神戸の有志企業とともに、阪神淡路大震災で被災した経験や、そこからの復興プロセスを活かして、東北地方太平洋沖地震の被災地を支援するためのネットワーク「Yell from KOBE」を結成しました。

2011年4月に第1弾の活動として、各企業が自社製品などを提供し、宮城県栗原市へ発送しました。



支援物資発送作業

VQ活動

「エコチーム」の環境保全活動

シスメックスでは、環境保全活動に興味ある従業員がエコチームを結成し、2008年度から、さまざまな環境保全活動を実施しています。

2010年度は須磨海岸(兵庫県)のクリーン作戦や六甲山(兵庫県)の植樹などを実施し、従業員の家族も参加して取り組みました。



須磨海岸の清掃活動



六甲山の植樹活動

海外での活動

医療

乳がん女性患者を支援

シスメックス・ドイツは乳がん女性患者のより質の高い検査、治療、アフターケアを目指す団体、Mamazoneへの寄付を通して乳がんと闘う女性を支援しています。



寄付金の贈呈

がん撲滅支援団体に3万ドルを寄付

シスメックス・アメリカは、より健康な世界をつくることを使命と考え、5つのがん撲滅支援団体を支援しています。2010年度は、これら団体に対して計3万ドルを寄付しました。

教育

子ども職場見学会「Go Green!」を開催

2010年8月、シスメックス・アメリカにおいて、子ども職場見学会を開催しました。

「Go Green!」をテーマとし、6歳から12歳まで計37名の子どもたちが参加し、花を植えたり、鳥小屋づくりなどの活動を通じて、地球環境保護の意識を高めてもらいました。



見学会に参加した子どもたち

医療研究プロジェクトを支援

シスメックス・インドは地域の病院が優れた研究に贈っている賞のスポンサーとなっています。

また、カルカッタでは医療研究プログラムを通じて、医学教育の発展に貢献しています。

難病に苦しむ子どもたちのための病院に 改装費を寄付

シスメックス・ニュージーランドは難病に苦しむ子どもたちを治療する病院に対して、家族や患者のための部屋・診察室の改装を行うための費用を寄付しました。

これによって子どもたちは、いっそう快適な環境で治療を受けることができるようになりました。



クリスマスプレゼントとして寄付を実施

NPOを通じてリベリアの学校を支援

シスメックス・ヨーロッパは、2010年度、アフリカのリベリア共和国で子どもの教育を支援している団体、Bong Aidを通じて、制服や教室のいすなどを用意するための資金を提供しました。



支援先のリベリアの学校の子どもたち

児童養護施設の子供たちを訪問

2010年度、シスメックス・マレーシアの従業員とその家族は、施設の子どもたちを元気づけるため、クアラルンプールの養護施設を訪問しました。



養護施設の子どもたち

災害被災地支援

洪水被害の被災地を支援

2010年10月、タイで大規模な洪水が発生したため、シスメックス・タイランドは、被災地に食料品や飲料や水を送るとともに、従業員がボランティアで復旧活動をお手伝いしました。



被災地に食料品や飲料水を発送(タイ)



被災地にお送りした日用品
(ニュージーランド)

ニュージーランド地震の被災地に日用品を寄付

2011年2月、ニュージーランドのクライストチャーチで大規模な地震が発生しました。シスメックス・ニュージーランドでは義援金に加えて日用品をお送りしました。

また、一部の従業員は、自宅を避難場所として開放し、被災地の方を支援しています。

外部からの評価

「カンパニーズ・ザット・ケア・アワード」を受賞

シスメックス・アメリカは、2010年度、社会貢献活動や働きやすい職場づくりなどに積極的に取り組んでいる企業に与えられる「カンパニーズ・ザット・ケア・アワード」を受賞しました。2008年度、2009年度に引き続き、3回目の受賞となります。

VQ 活動

「Greener Systemx」活動

アジア・パシフィック地域8カ国のグループ会社が一つのチームとなり、「Greener Systemx」を合言葉に、さまざまな環境保全活動や地域貢献活動に取り組んでいます。

2010年度には、シンガポール、ニュージーランド、タイで絶滅危惧種保護のためのチャリティイベントに協力しました。また、フィリピンでは、植樹活動を実施しました。



絶滅危惧種保護のチャリティイベントの準備(ニュージーランド)



活動紹介パネル



植樹活動を実施(フィリピン)

長期目標を設定し、環境負荷低減を推進

シスメックスは、ヘルスケア分野における「環境先進企業」を目指し、製品の設計から、開発、調達、生産、物流、販売、サービス、製品使用に至るまでの各段階において環境負荷の低減に取り組み、地球環境との調和を追求しています。

環境マネジメント

環境方針

私たちは、ヘルスケア分野にかかわる企業として、地球環境保全活動を通じて、豊かな健康社会づくりに貢献します。

行動基準

1. 環境保全を重視した事業活動を行い、社会の全ての皆様に安心をお届けします。
2. 製品のライフサイクルの各段階において、環境への影響を考慮し、環境に配慮した製品・サービスの提供に努めます。
3. すべての事業活動において、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減、リサイクルを推進し、化学物質の適正管理に努めます。
4. あらゆる国または地域の適用される環境に関する法令、規制、協定などを遵守します。
5. 環境保全活動の継続的な改善を行い、汚染を予防し、私たちの製品が環境に与える影響を最小限にするように努めます。
6. 環境教育・啓発を通じて環境意識の向上を図るとともに、地域・社会の一員として環境保全活動を通じた社会貢献に取り組みます。
7. 環境方針から環境目的・目標を設定し、計画的に目標達成に取り組みます。

2009年5月7日
シスメックス株式会社
代表取締役社長 家次 恒

注) 環境方針は2000年3月に制定、2009年5月改定。

環境活動の推進

シスメックス(株)およびシスメックス国際試薬では、シスメックス(株)のCSR担当執行役員を最高責任者とする「環境管理委員会」において、方針・計画の策定、計画の進捗管理、実績の評価などにあたっています。

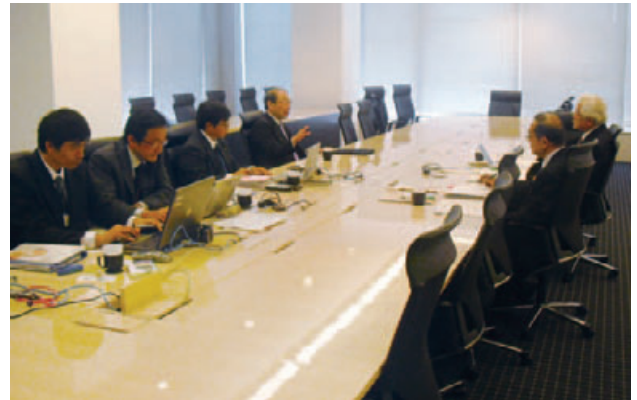
2010年4月には、「シスメックスグループ環境行動計画(シスメックス・エコビジョン2020)」を策定しました。この中で、2020年度を達成期限とする長期環境目標を定め、環境負荷低減に取り組んでいます。

また、2010年度には、グループ全体の環境活動を把握するために国内外の各グループ会社に、環境に関する責任者を設置し、活動内容やパフォーマンスデータを収集する体制を整えました。

環境監査

2010年度、シスメックス(株)およびシスメックス国際試薬では、自部門でチェックする法規制の「順守評価」のほか、他部門の監査員による「内部環境監査」を実施しました。また、外部審査機関による「外部環境審査」を実施しました。

内部環境監査では3件、外部環境審査では2件の不適合が見つかっており、それぞれ対応を完了しています。



外部環境審査

外部からの評価

2010年10月、シスメックスは、10年以上にわたり継続的に環境活動に取り組んできたことが評価され、神戸市から「環境功労賞」を受賞しました。

また、シスメックス国際試薬の小野工場は、兵庫県北播磨県民局が同年11月に開催した「ごみ2割削減北はりま大作戦フォーラム」において、「ごみ減量・資源化モデル事業所」に指定されました。



神戸市 環境功労賞

シスメックスグループ環境行動計画(シスメックス・エコビジョン2020)

シスメックス・エコビジョン2020 長期環境目標(2020年度)		2010年度の活動・実績
地球温暖化 対策	検体検査機器の消費電力25%削減 (従来機種比)	・2011年度中に発売予定の血液分析装置において、従来よりも消費電力を20%削減。
	事業所における温室効果ガス排出量 50%削減(連結売上高原単位)	・冷蔵庫と全館の空調のコンプレッサーを、環境効率の良いものに更新。(西神工場) ・全館の空調を、環境効率の良いものに更新。(小野工場、シスメックスRA) ・太陽光発電を導入。(シスメックス・ヨーロッパ ノイミュンスター工場) ・断熱効果向上に向けた屋上工事、遮熱カーテンの設置を実施。(加古川工場)
	物流における国内CO ₂ 排出量 11%削減(単体売上高原単位)	・兵庫県・北海道の輸送について、従来のトラック便輸送から列車輸送に変更 (モーダルシフト)。
	物流におけるグローバルCO ₂ 排出量 の削減目標の設定	・日本と海外各地域(アメリカ、ヨーロッパ、中国、アジア・パシフィック)との間の物流 CO ₂ 排出量の算出ルールを作成し、ルールに則った算出を開始。
	国内社用車におけるCO ₂ 排出量 50%削減(国内売上高原単位)	・走行距離、ガソリン使用量の把握を開始。エコドライブ研修を実施。 ・ハイブリッドカーやコンパクトカーなど環境負荷の低い車両への切り替えを検討。
資源の 有効利用と 廃棄物の削減	製品の容器包装・輸送梱包材 15%削減(単体売上高原単位)	・製品の梱包省資源化を実施。 ・輸送時に使用する梱包材の軽量化、軽量パレット化を推進。
	製品の容器包装・輸送梱包材 グローバル目標の設定	・グループ全体で使用した梱包・包装材重量の集計を実施(2008年度、2009年度分)。
	事業所における廃棄物等排出量 15%削減(連結売上高原単位)	・生ゴミ処理機を導入し、従業員食堂の生ゴミや刈りとった芝生の処理を推進。 (ソリューションセンター、西神工場) ・原材料調達先と協力して原料容器の大容量化や通い箱の導入を実施。(加古川工場、 小野工場、シスメックス・ヨーロッパ)
	全対象事業所で目標リサイクル率を達成 (国内:99%以上、海外:95%以上)	・廃棄物の分別範囲の拡大や、処理業者の見直しなどを実施。
水資源の 有効利用	事業所における水使用量30%削減 (連結売上高原単位)	・純水製造装置を更新し、純水の製造効率を向上。(小野工場) ・冷蔵庫を水冷式から空冷式に更新し、水使用量の削減を推進。(西神工場) ・工場排水を緑地の散水に利用し、水使用量の削減を推進。(シスメックス・インドア)
その他	脱動物由来原料製品の開発	・試薬に使用するタンパク原材料について、動物由来材料から人工的に合成したタン パク質への置き換えを推進。
	紙パック試薬容器の開発	・石油由来材料製から紙パック製に変更するため、試薬工場に充填設備などを導入。
	環境配慮型設計ガイドラインの 策定と運用	・環境配慮設計ガイドラインの草案に盛り込むため、各国の化学物質規制を調査。
	主要サプライヤーのEMS構築率100%	・原材料調達先に対して、環境マネジメントシステム規格認証取得の啓発活動を実施。
	対象事業所における ISO14001 認証取得	・シスメックス・ヨーロッパ(本社)とシスメックス・インドアで、2011年度中の認証 取得に向け、準備活動を推進。
	環境に配慮したサービスモデルの推進	・中国、アジア・パシフィック地域でSNCS加入の拡大を推進。 ・グループ内で知識・ノウハウを伝達するための情報システムの開発を開始。
	ライフサイクルアセスメント(LCA)の推進	・血液分析装置の従来機種の算出基準を作成し、評価を実施。

地球温暖化対策

検体検査機器の消費電力削減

検体検査機器は、販売後、長くお客様先で使用いただくため、シスメックスでは、よりいっそうの消費電力の低減を図っています。

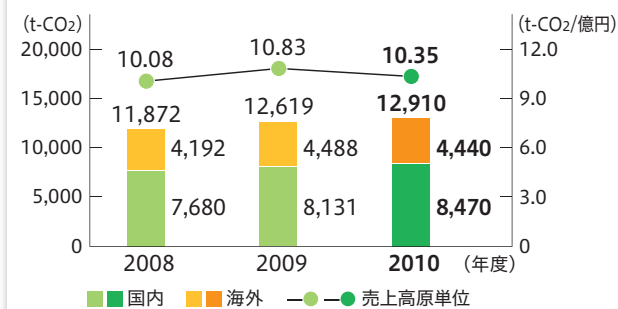
2011年度に出荷予定の血液分析装置においては、従来品比で20%の削減を実現しています。

事業所における温室効果ガス排出量削減

事業所における温室効果ガス排出量を削減するために、各事業所で設備更新などを進めています。2010年度の温室効果ガス排出量は、前年度比4.4%の減少となっています。(エコビジョン実績：総排出量の売上高原単位)

なお、2010年度には、シスメックス・ヨーロッパのノイミュンスター工場に太陽光発電装置を導入しました。年度途中の導入であったため、太陽光発電による電力量が工場の全電力量に占める割合は2.6%にとどまりましたが、通年で稼動した場合には、電力量の23%を賄うことができると試算しています。

事業所における温室効果ガス排出量



注) 集計範囲については、31ページをご覧ください。



太陽光発電装置(シスメックス・ヨーロッパ)

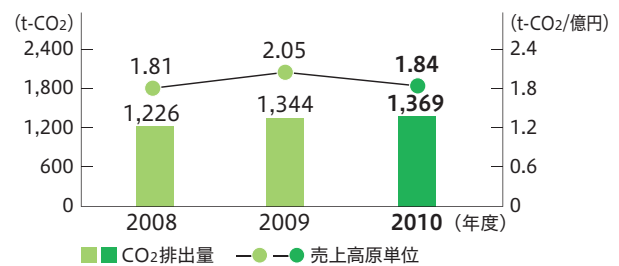
物流におけるCO₂排出量削減

物流からのCO₂排出量が占める割合も大きいいため、これを低減するための取り組みも進めています。

2010年度には、製品の物流倉庫がある兵庫県から北海道への輸送方法を、トラック便から列車へと変更しました。

また、海外に関しては、2010年度に日本から海外各地域への輸送について、CO₂排出量の算定ルールを作成し、集計を試行しました。

物流におけるCO₂排出量



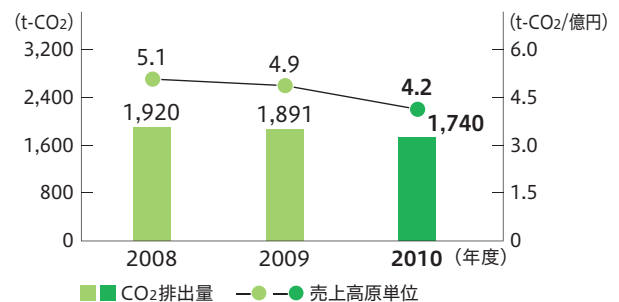
注) 集計範囲は、国内工場から各販売店までの物流CO₂。

国内社用車におけるCO₂排出量削減

約400台ある国内の社用車からのCO₂排出量を削減するために、イントラネットにおいて各車両の走行量、使用ガソリン量を「見える化」するなどし、ドライバーの意識向上を図っています。

2010年度の排出量は、車両数を減らしたため、CO₂排出量も減少しました。今後、エコカーへの切り替えやエコドライブの促進によって削減を推進します。

国内社用車におけるCO₂排出量



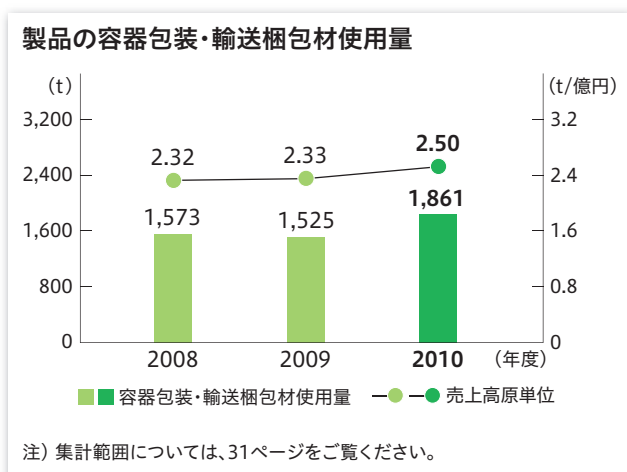
注) 集計範囲については、31ページをご覧ください。

資源の有効利用と廃棄物の削減

製品の容器包装・輸送梱包材削減

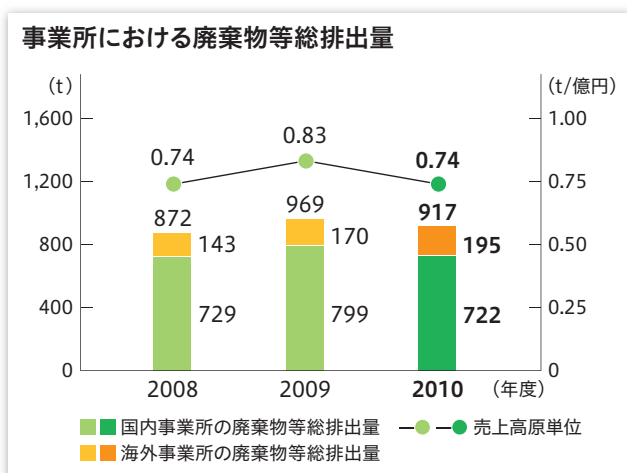
機器や試薬、修理用部品などの容器包装や梱包材の軽量化などに取り組み、使用量削減を図っています。

2010年度には、国内向け製品の簡易梱包設計に取り組みました。また、海外向け製品の容器包装・梱包材使用量を把握するための実績値を収集しました。



事業所における廃棄物等排出量削減

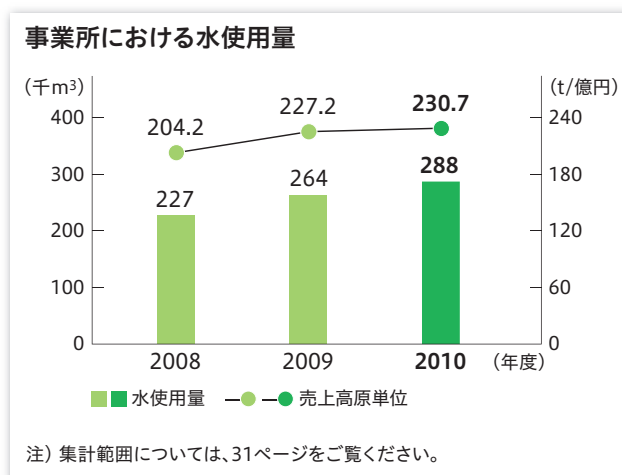
原材料の輸送箱には、使い捨てのものがありましたが、調達先と協力して再利用可能な通い箱への切り替えを進めています。また、社員食堂など生ゴミの多く出る事業所では、生ゴミ処理機の活用を進めました。



水資源の有効利用

事業所における水使用量削減

2010年度の水使用量は、試薬の生産量が増加したため、前年度から売上高原単位で2%増加しましたが、小野工場の純水製造装置をより高効率なものに更新し、水使用量の低減に取り組んでいます。



その他

調達先の環境マネジメントシステム構築支援

シスメックスでは、グリーン調達基準を定め、これに準じるよう主要な調達先に対し、ISO14001や地域行政が推奨する環境マネジメントシステム規格の紹介や取得に対する啓発を実施しています。




環境に配慮したサービスモデルの推進

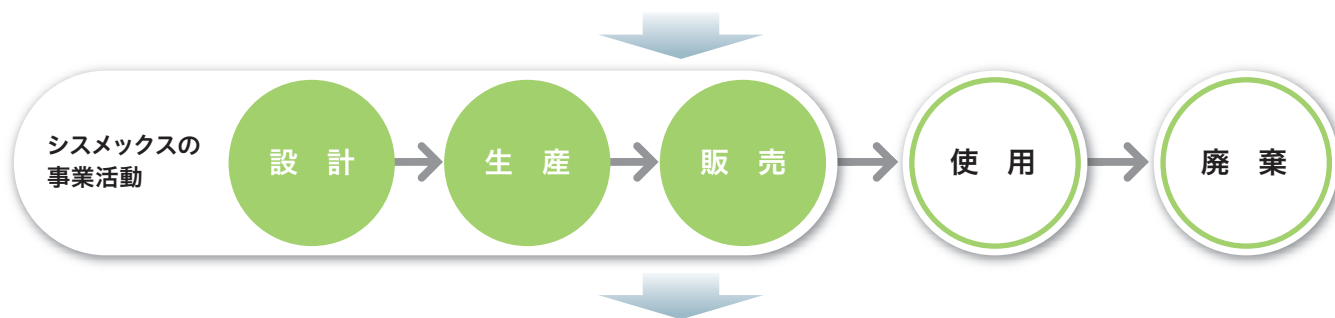
シスメックスではカスタマーサポートセンターの充実を図るとともに、SNCS(詳細は18ページ参照)によるお客様との双方向ネットワークを構築し、検査装置のダウンタイムの最小化を図っています。これによってシスメックスの担当者がお客様先を訪問する頻度を減らし、社用車のガソリン使用量・CO₂排出量抑制につながっています。







2010年度には、アジア地域においてSNCS加入を拡大するために、各国のIT事情にあわせたセキュリティ対策を実施しました。

事業活動にともなう環境負荷

対象期間：2010年4月1日～2011年3月31日

INPUT				
		単位	2009年度	2010年度
 総エネルギー	電力※1	千kWh	25,452	26,352
	燃料(都市ガス)※1	千Nm ³	800.9	793.5
	燃料(LPG)※1	t	57.2	50.6
	燃料(灯油)※1	kl	45.2	49.9
	燃料(社用車ガソリン)※2	kl	825.0	746.5
 総物質投入量	OA紙※2	t	57.8	69.1
	PRTR※3管理対象化学物質取扱量※2	t	38.2	8.9
	製品の容器包装・梱包材量※2	t	1,525	1,861
 水資源	水使用量※1	m ³	263,740	287,674



OUTPUT				
		単位	2009年度	2010年度
 事業所温室効果ガス排出量※1		t-CO ₂	12,619	12,910
 社用車CO₂排出量※2		t-CO ₂	1,891	1,740
 化学物質排出量 (PRTR※3管理対象化学物質排出量)※2		t	1.6	1.0
 廃棄物等総排出量※1		t	969	917
 リサイクル量(リサイクル率)※1		t(%)	772(79.6)	815(88.9)
 排水量※1		m ³	128,277	119,732

※1 集計範囲はシスメックス株式会社および国内・海外グループ会社
シスメックス株式会社 / シスメックス国際試薬株式会社 / シスメックスRA株式会社 / シスメックスメディカ株式会社 / シスメックス物流株式会社
Sysmex America, Inc. / Sysmex Reagents America, Inc. / Sysmex do Brasil Industria e Comercio Ltda. / Sysmex Europe GmbH
(Neumuenster Factory) / 希森美康医用電子(上海)有限公司 / 濟南希森美康医用電子有限公司 / 希森美康生物科技(無錫)有限公司 /
Sysmex Asia Pacific Pte Ltd. / Sysmex India Pvt. Ltd.

※2 集計範囲はシスメックス株式会社および国内グループ会社
シスメックス株式会社 / シスメックス国際試薬株式会社 / シスメックスRA株式会社 / シスメックスメディカ株式会社 / シスメックス物流株式会社

※3 PRTR: Pollutant Release and Transfer Registerの略。有害性のある化学物質が、どのような発生源からどれくらい環境中に排出されたか、廃棄物に含まれて構外に運び出されたかというデータを把握・集計し、公表する制度です。

第三者意見

「シスメックス あんしんレポート2011」を読んで

1. 環境行動計画(エコビジョン)の策定

シスメックスは、ヘルスケア分野における「環境先進企業」を目指し、製品の設計から製品の使用にいたる各段階で環境負荷の低減に取り組み、地球環境との調和を追求しています。その長期環境目標として、2020年度をターゲットとした「シスメックスグループ環境行動計画(シスメックス・エコビジョン2020)」を策定されました。地球温暖化対策、資源の有効利用と廃棄物の削減、水資源の有効利用など意欲的な計画で、高く評価できます。今後は、この長期目標を実現するために中短期的な目標に落とし込み、達成度を継続的に開示されるしくみを構築されることが期待されます。

2. 新興国に向けたCSRの取り組み

シスメックスでは、新興国の医療ニーズに合った製品・サービスの提供に取り組んでいます。これは途上国低階層を対象とした持続可能な、現地におけるさまざまな社会的課題の解決に資することが期待される新たなビジネスモデル、いわゆるBOP(Base of the Economic Pyramid)ビジネスに近い取り組みであり、今後、シスメックスがCSRとして重視すべき一つの課題であるといえます。

神戸大学大学院
経営学研究科教授
國部 克彦 様



事業を通じたCSRそのものであり、今後の進展が期待されます。

3. CSRマネジメントの枠組み構築

シスメックスは、国連「グローバル・コンパクト」への参加をはじめ、CSR推進体制の改編、CSR重点課題の検討開始、CSR意見交換会の実施など、CSRマネジメントの枠組みを構築する取り組みを始めました。また、CSRに戦略的に取り組むことが重点経営課題として中期経営計画にも盛り込まれました。今後は、ステークホルダーのニーズを理解するために、ステークホルダーとの双方向コミュニケーションに取り組むことが次のステップとして重要だと思われます。そして、このニーズに応えるための取り組みを、目標とともにCSRマネジメントに落とし込むことが期待されます。

シスメックスのCSRのさらなる進化を期待します。

ご意見を受けて

真摯かつ丁寧なご意見をくださった國部先生に感謝申し上げます。

高い評価をいただいたエコビジョン2020については、今後、達成に向けて中短期的な目標・計画を定め、着実に活動を推進してまいります。

また、新興国・途上国に対しては、事業活動において各国のニーズに対応した製品・サービスを提供することで現地の医療体制の整備を支援していくとともに、社会貢献活動についても積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

CSRマネジメントについては、先生からのご指摘を踏

取締役 専務執行役員
CSR・環境推進担当

雪本 賢一



まえ、ステークホルダーのご要望・ご期待をしっかりと把握したうえで、重点課題の検討や目標設定に取り組んでまいります。

今後も國部先生をはじめとしてステークホルダーの皆様からのご期待に沿うように、CSR活動を着実に進化させていく所存です。

会社情報

会社概要

社名	シスメックス株式会社 SYSMEX CORPORATION	事業内容	臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入
設立	昭和43年(1968年)2月20日	主な販売先	国公立病院、一般病院、大学、研究所、その他医療機関 ほか
資本金	90億4,100万円	輸出先	世界170カ国以上
代表者	代表取締役社長 家次 恒	関係会社	48社(国内7社、海外41社)
本社所在地	兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号		

事業内容

検体検査事業

血液や尿、細胞などを採取して、その成分を分析するための機器・試薬・ソフトウェアをお客様にお届けしています。特に、赤血球・白血球の数や機能を調べる検査装置(血球計数検査)、血液の固まりやすさを調べる検査装置(血液凝固検査)では、トップブランドとしてお客様から評価いただいています。また、シスメックスは機器だけでなく、試薬やソフトウェア、さらには検査装置のメンテナンスや、学術サポートなど幅広い製品と

サービスを融合し、検査業務の効率化とともに質の向上をご提案しています。

ライフサイエンス事業

検体検査事業で培った技術をもとに、遺伝子、たんぱく質などを調べる最新のテクノロジーを用いて、全く新しい検査・診断技術の創出に注力しています。主にがんの確定診断や再発予防を目的とした研究開発を行っており、がん細胞のリンパ節への転移の有無を短時間で調べる検査技術については、世界各国で市場導入

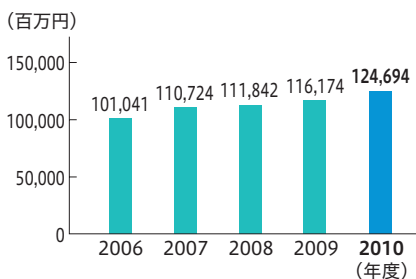
を進めています。また、抗がん剤の効果を調べる技術については、事業化に向けて研究開発を進めており、患者さんのQOL向上への貢献を目指しています。

その他事業(ヘルスケア分野など)

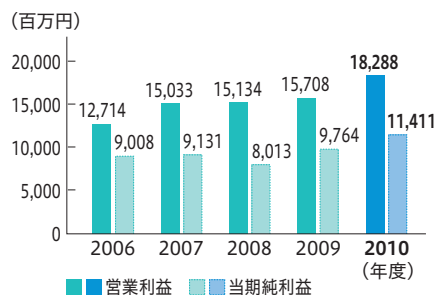
採血せずにヘモグロビンを推定できる装置のほか、健康管理支援や保育業務支援など、各種ソフトウェアを商品化し販売しています。また、検体検査事業で培った計測技術を応用し、工業分野向けの粒子計測装置の開発を行なっています。

財務データ

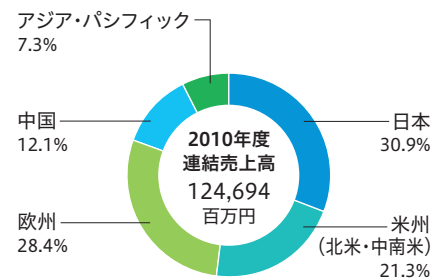
連結売上高



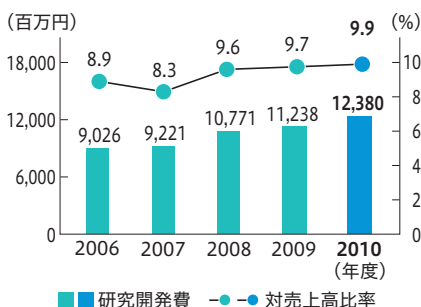
連結営業利益/連結当期純利益



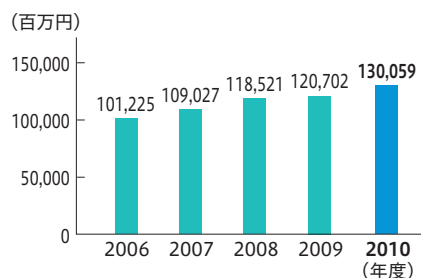
地域別売上高



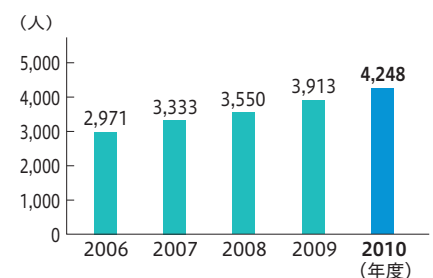
研究開発費



連結総資産



グループ従業員数



「赤十字ペーパー」を使用し、日本赤十字社東京都支部の活動を支援しています。

本レポートの印刷用紙には、「赤十字ペーパー」を使用しています。この用紙の購入費の一部は、日本赤十字社東京都支部に寄付され、人道的支援活動に役立てられます。赤十字は、国や人種、貧富、敵味方の差別なく、災害や紛争の被災者に対して人道的支援をさしのべる世界最大の人道機関で、そのネットワークは世界186の国と地域に広がっています。



シスメックス株式会社

神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 〒651-0073
Tel 078-265-0500 Fax 078-265-0524

www.sysmex.co.jp



この用紙費用の一部は「日本赤十字社」に寄付されています。



この冊子は、環境に配慮し、植物性インキおよび水無し印刷を採用しています。